

**6月22日(日)、東急目黒線を日吉駅へ延伸、鉄道ネットワークを拡充します****目黒線・東横線のダイヤ改正を実施し、利便性を向上させます**

東京急行電鉄株式会社

**2008年6月22日(日)、東急目黒線を日吉駅まで延伸します。**

目黒線では、平日の朝ラッシュ時に上り急行3本を、22時以降に(上り・下りとも)各駅停車3本を増発し、輸送力を増強します。あわせて、日中の各駅停車のうち(上り・下りとも)毎時2本を急行に変更し、急行の本数を毎時2本から4本へ増加させて速達性を向上します。

東横線では、平日早朝・夜間の一部の特急を通勤特急に変更し、日吉駅における横浜市営地下鉄グリーンラインとの乗り換え利便性を向上させます。

東京急行電鉄(本社:東京都渋谷区、社長:越村敏昭)では、このたび、目黒線(目黒~武蔵小杉)の日吉駅への延伸日を2008年6月22日(日)とすることを決定しました。これにより目黒線には、新たに元住吉・日吉の2駅(いずれも東横線と共用)が加わり、全13駅、営業キロ11.9kmの路線となります。

また、これに合わせて目黒線・東横線のダイヤ改正を実施します。詳細は以下のとおりです。

1. 目黒線を日吉駅まで延伸

目黒線は現在、東京メトロ南北線(埼玉高速鉄道線まで直通運転)、都営三田線と相互直通運転を行っています。今回の延伸により、2008年3月30日に開通した横浜市営地下鉄グリーンライン(中山~日吉)と日吉駅で接続し、グリーンライン沿線から都心方面へのアクセスがより便利になります。

当社では、東横線の混雑緩和を図るため、1988年から「目蒲線(現目黒線)目黒~多摩川園(現多摩川)間改良工事および東横線多摩川園~日吉間複々線化工事」を進めており、武蔵小杉~日吉間は2000年4月から工事を行ってきました。今回の目黒線の日吉駅への延伸により、多摩川~日吉間の4.8kmが複々線化されます。

なお、2019年には相鉄線との相互直通運転を開始(2007年4月に国土交通大臣から計画が認定された相鉄・東急直通線を使用)する予定で、さらなるネットワークの拡充を図ります。

延伸日 2008年6月22日(日)

延伸距離 2.8km

これにより目黒線は目黒~日吉間、全13駅、全長11.9kmの路線となります。

新設駅 元住吉、日吉の2駅(元住吉は急行通過駅)

いずれも東横線との共用駅です。目黒線ホームにはホームドアを設置します。

## 2. 目黒線・東横線のダイヤ改正を実施

輸送力増強および速達性向上と、横浜市営地下鉄グリーンラインとの乗り換え利便性向上を目的として、目黒線・東横線のダイヤ改正を行います。

### (1) 目黒線

#### 平日朝の増発

朝ラッシュ時に上り急行3本を増発し輸送力を増強します。

現 行 (上り目黒到着 7時50分～8時50分)	急行	7本	各駅停車	14本
改正後 ( " )	急行	10本	各駅停車	14本

#### 日中の急行増発

平日・土休日とも、日中の全列車を地下鉄線直通とするとともに、毎時2本の各駅停車を急行に変更。急行の本数を毎時2本から4本へ増加させて速達性を向上します。

現 行 (日中、毎時、上り・下りとも)	急行	2本	各駅停車	10本
改正後 ( " )	急行	4本	各駅停車	8本

#### 平日夜間の増発

平日22時以降に、各駅停車を3本(上り・下りとも)増発し、夜間の輸送力を増強します。

### (2) 東横線

#### 通勤特急運行時間帯の拡大

平日早朝・夜間の特急(早朝上り1本、夜間下り2本・上り9本)を通勤特急に変更し、日吉駅における横浜市営地下鉄グリーンラインとの乗り換え利便性を向上させます。これにより平日の始発～9時ごろと17時ごろ～終電の特急は、すべて通勤特急となります。

以 上

### (参考) 東横線複々線化工事の概要

都心方面へのルートを増やし、東横線の混雑緩和を図るため、多摩川～日吉間の約4.8kmを複々線化し、目黒線を日吉駅まで延伸するものです。多摩川～武蔵小杉間はすでに複々線化を完了し、2000年8月から目黒線を目黒～武蔵小杉間で運行しています。武蔵小杉～日吉間(約2.8km)は、2000年4月から工事を行ってきましたが、今回、目黒線を日吉まで延伸することにより、日吉～多摩川～目黒～都心方面～埼玉方面(東京メトロ南北線・埼玉高速鉄道線、都営三田線)の直通運転が実施されます。